



International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第5号

1990(平成2)年新年号

編集発行

(財)栃木県国際交流協会

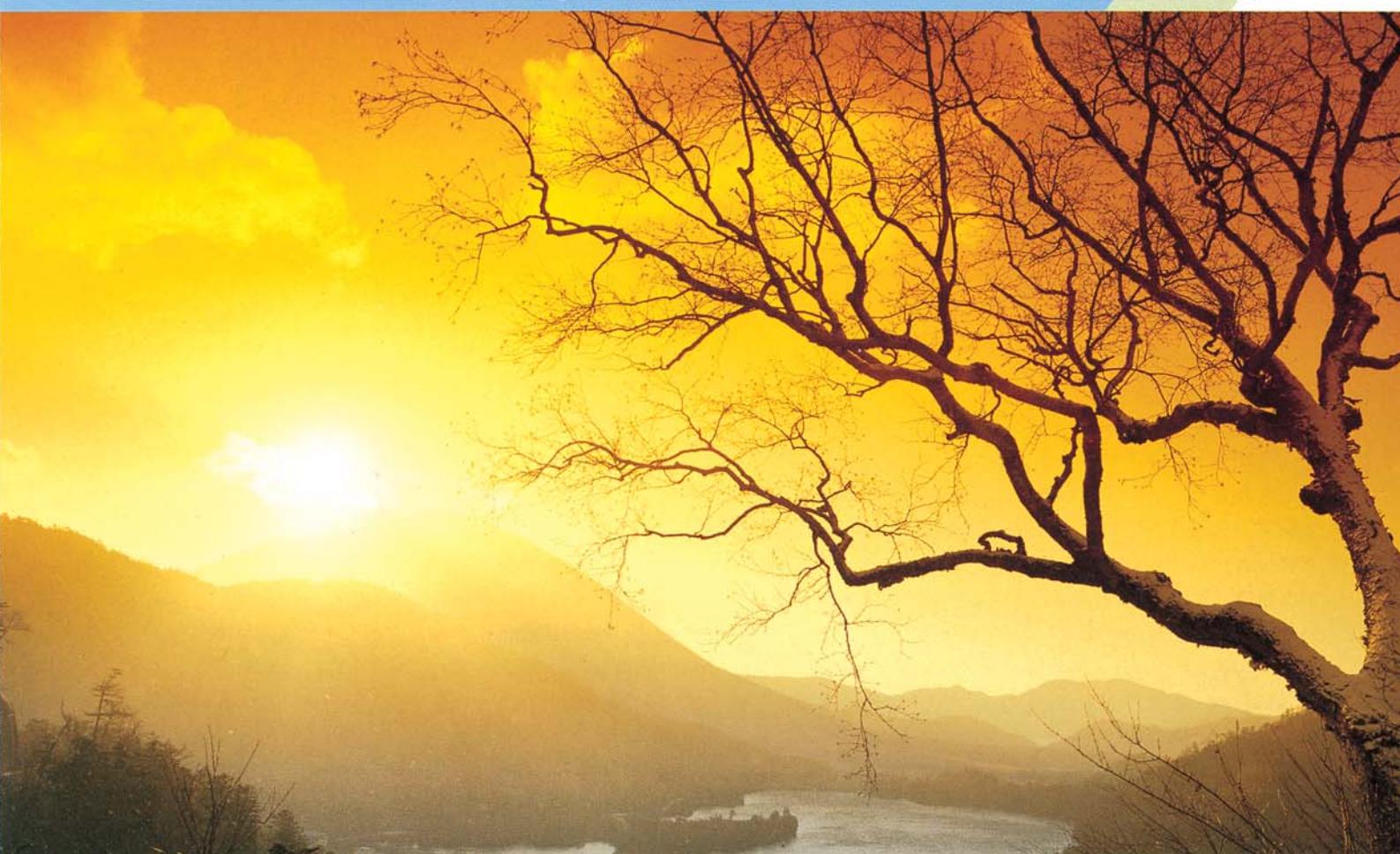
Tochigi International Association

〒320 宇都宮市昭和1-2-16

栃木県自治会館1階・3階

Tel (0286) 21-0777(代)

Fax (0286) 21-0951



裏男体の日の出 金精峰から湯の湖

Mount Nantai at sunrise



理事長あいさつ

財団法人栃木県国際交流協会

理事長 推津 弘之

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

当協会は、昨年10月で1周年を迎え、「アジアの夕べ」や「キャンプインバとう」の開催、相談事業や南米移住者激励訪問団の派遣など、皆様の御協力を得て各種の国際交流事業を進めることができました。また、栃木県と、フランスヴォークリューズ県や中国浙江省との交流も盛んとなり、更に市町村や民間レベルでの外国との交流のニュースも多く聞かれるようになりました。国際情勢も、開発途上国への累積債務問題や地球温暖化などの地球規模の環境問題、東欧諸国の民主化要求等々数多くの問題がありますが、今ではそれらの問題を世界的な規模でとりあげ、協力しあって解決してゆく動きにあります。次第に世界が身近なものになってゆく時代の流れの中で、当協会も皆様のニーズにお答えできるよう本年も努力してまいりたいと思います。今後とも協会の活動に対するご意見ならびにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

A Happy New Year!

I sincerely hope the new year will bring for you good health and happiness.

It has been about one year since the Tochigi International Association was established and various activities have been organized. Among the successes are the International Exchange Camp in Bato, the Asian Night Festival, the encouragement mission to South America and so on.

Recently, exchange program between Vaucluse, France and Tochigi Prefecture, or Zhejiang, China and Tochigi Prefecture has been expanding. Local communities and private groups in Tochigi maintain friendly relations with other countries.

There are many problems on the earth. The Whole world is trying to solve these problems together.

With technological developments and modern travel, the world is becoming smaller and smaller. We here at TIA hope to help promote exchange of information and find new ways to foster internationalization. We hope to see you during the holidays or in 1990 so that we may hear your ideas and listen to your comments.

Chairman HIROYUKI SUITSU

南米徒然草 一激励訪問団の16日間

海外で活躍する本県出身者を激励するため、県海外移住者激励訪問団が、中南米、ハワイを10月

25日から11月9日までの16日間に亘り、歴訪しました。

在伯栃木県人会創立30周年記念式典が10月29日、ブラジル・サンパウロで開かれるのを機に、協会は、県内各界各層の代表20名で「栃木県海外移住者激励訪問団（団長：鈴木乙一郎栃木市長）」を組織しました。

訪問団は、上記の式典への参加をはじめ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、アメリカに本県から移住した一世の苦労を激励するとともに、二世、三世の人たちとも懇談し、母県とのつながりをより強くしようすること、各国の観光地も同時に訪れ、友好観善に寄与することが目的です。

10月25日、一行を乗せたジャンボ機は関係者に見送られる中成田をあとにしました。日付変更線を越え、ロサンゼルスへ。ここでサンパウロへ向かうヴァリグ・ブラジル航空へトランジット。機内に流れるポルトガル語が南米への熱い思いをかきたてます。

10月26日、サンパウロ空港に到着、在伯栃木県人会（会長：増田守、会員200名）の熱烈な歓迎を受けました。そこには数年の、また数十年の再会を喜びあう姿が見られます。サンパウロは南米最大の都市で、ブラジルの国民総生産の半分以上を産みだす商工業の街です。

10月27日、この日は2班に分かれてのイグアスの滝ツアー。この滝は幅4キロ、増水期には20キロ以上離れた場所にも響



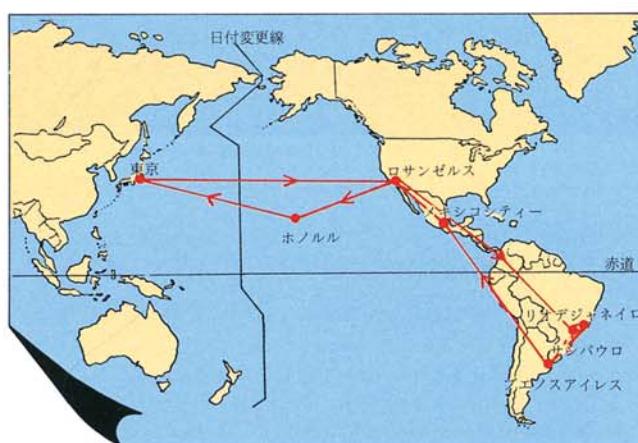
式典で祝辞を述べる鈴木団長

き渡るというまさに世界最大の滝です。第2班はエンジントラブルのために、飛行機が飛ばないというハプニング。航空会社は、食事をご馳走してくれたそうです。

10月28日、丸一日フリータイム。めいめいサンパウロの観光やショッピング、知人を訪問したりの楽しい1日でした。夜は、知事、県議会議員、訪問団一行と県人会役員との夕食会が催され、話の花が咲きました。

10月29日、在伯栃木県人会創立30周年記念式典の当日、式典を祝うような日本晴れならぬブラジル晴れです。本来、式典は昨年挙行されるはずでしたが、県知事の出席を願って一年延期した経過があります。本県からは渡辺知事をはじめ、県議会議員代表、訪問団一行の約30名の参加で式典を盛りあげます。式典には県人移住家族や来賓など約300名が出席、会場の栃木県人会館一階ホールは身動きがとれない程です。先亡者への黙禱、移住者の苦労や努力をねぎらう来賓祝辞、県知事への勲章伝達、県人会への記念品贈呈、高齢者等への感謝状贈呈と続き、最後に「栃木県民の歌」と「ふるさとの歌」を齊唱、何人かの移住者一世は目頭を押さえていました。故郷への思いや苦労が走馬燈のように頭をよぎったのでしょうか。

式はとどろきなく終了し、午後のパーティーです。婦人部の日本料理やブラジル料理を味わいながらの歓談、そして



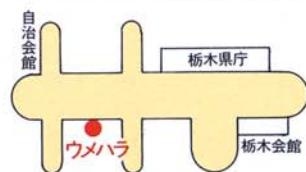
海外旅行用品から海外土産品まで 旅の支度は ウメハラでどうぞ！

当社は創業31年、海外渡航者のアドバイザーとして、渡航用品のコーディネイト及び土産品の販売を主たる業務としている会社です。

また本格的な海外渡航時代を迎え、ワールドワイドな事業拡大を推進しています。当社では、海外土産品の予約販売も行なっています。ご出発前にぜひ一度ご来店下さい！

海外渡航支度専門店
(海外土産品予約センター)

宇都宮店
●営業時間／午前9時～午後6時(日曜・祭日は午前10時より)
●定休日／第1・第3日曜日
●☎(0286)22-1797
〒320 宇都宮市本町9-3



ウメハラ



1年前から練習している“和楽踊り”を披露

再会を喜びあう光景が各所で見られました。中庭では、ゆかたをまとった女性による日光和楽踊りが披露されました。

日光と背中合わせのブラジル、サンパウロには地図には載りませんが確かに「栃木県」が存在しています。

10月30日、名残り尽きないサンパウロをあとにして、一行はリオデジャネイロへ。リオは世界三大美港のひとつであり、カーニバルやサンバ、コパカバーナやイパネマの白い砂浜そしてコルコバードの丘と国際観光都市としてあまりにも有名です。海拔710メートルのコルコバードの丘。そこには高さ30メートルの両手を広げたキリスト像が青空にそびえ立っています。夜にはサンバショー、このエネルギッシュな踊りを見ていると、カリオカ（リオっ子）の誰もが楽しむサンバこそがリオの原動力のようです。

10月31日、音楽でも知られるコパカバーナやイパネマ海岸では、陽気なカリオカが浜辺で日光浴。ブラジル名物シュラ



アルゼンチン県人会との懇談会

はコルコバードの丘とともにもう一つのリオのシンボル。

11月1日、ブラジルをあとにアルゼンチンに入国。表玄関はブエノスアイレス。ラプラタ川畔に広がる都市は、夜がふけるほど活気がつき、眠らない街と呼ばれています。この夜はタンゴショーを鑑賞。アルゼンチン・タンゴはこの街に生まれ、はじめの頃は、男同士で踊っていました。男女が華麗に踊る現在のタンゴからは想像できません。

11月2日、市内観光、銀の川と呼ばれるラプラタ川、私たち日本人には向こう岸が見えない川には驚かされます。そしてハイライトのアルゼンチン栃木県人会（会長：秋沢尚文、会員27名）との懇談会。約20名が集まり、特産の肉をつまみにふるさとやお国事情の話に花が咲きます。懇談は夜遅くまで続き、在亜県人会を激励しました。

11月3日、昼食は久々の日本食。肉料理にくたびれた胃を活性化し、鋭気を養った団一行は、次のメキシコ日系人会激励のためにアルゼンチンをあとにしました。（次号に続く）



在伯栃木県人会館前で

スコ料理（色々な肉のジャンボ串焼き、ちなみに牛の後頭部のこぶが美味）に舌鼓。そしてポン・デ・アスカルの岩山

TEA BREAK (That's学の巻)



海外移住は明治元年（1868）のハワイに始まり、明治41年（1908）にブラジル移住が開始。栃木県は戦前に1321人、現在までに1580人が移住（旅券発給上）。最も多くの移住者がいるのはもちろんブラジル。日系人の中には政界や財界に進出し活躍している者も多い。中南米地域では農業分野の貢献度は高い。現在、海外には、約25万人の邦人永住者と推定約140万人の日系人が在住。

自治会館内にニューすいしん誕生！

☆営業時間 9:30～20:00

☆各種パーティー（椅子席40名様まで）受け承ります。

☆会議用弁当、お飲物御注文承ります。

割烹醉心と共に宜敷く御利用の程お願い致します。

自治会館レストラン

ニューすいしん

宇都宮市昭和1-2-16 TEL 0286(25)1785

平成1年10月



ようこそ とちぎへ

芳賀都市貝町在住（中華人民共和国出身）

新宇都宮カントリークラブ

権 奇花さん

権 奇花さん

〈プロフィール〉

日本のサービス業務を学ぶために、瀋陽国際経済技術合作公司から派遣され、権奇紅(妹)さん、王軍さんとともに平成元年6月23日に来日。3人とも2年間にわたり、カントリークラブ内で、フロント・売店・レストラン業務・コンピューター操作などを勉強予定。

権奇花さんは、遼寧大学日本語科を卒業後、地元工場や政府の日本語通訳を行っていた。

〈来日されて約5ヶ月経ちましたが、日本の生活には慣れましたか？〉

中国と似ているので、すぐに慣れました。

しかし、材料は同じでも、やり方が違いますね。

〈お休みの日は、どのようにお過ごしですか？〉

休みは週1回です。時にはクラブバスを利用して宇都宮市内へ行き、お店を見てまわります。日本は、生活用品が工夫されていて、細かいところまでいろいろな物を使っています



左より 権奇花さん、権奇紅さん、王軍さん

ね。見ているだけで楽しくて1日中歩いていてもあきません。〈これまで行かれた所で、1番印象に残った所はどこですか？〉

先月、会社の人に箱根へ連れて行ってもらいました。日本の自然は、自然のままで保存されていて、景勝地がたくさんありますね。中国は、富士山よりきれいな山や大自然がたくさんあると思うのですが、交通面や観光の開発がされていないので、見に行くことができません。残念ですね。

〈日本と中国で大きく違う点がありますか？〉

人間関係、家庭観念が違いますね。中国では、学校や仕事が終わるとすぐに家にもどり、家族そろって食卓を囲み、その日あったことを話し合います。それが楽しみなのです。日本では、仕事が終わってもなかなか家へ帰りませんね、接待や残業とかで。ですから家庭の雰囲気があまり感じられません。

〈将来の希望をお聞かせ下さい。〉

中国での観光開発を例にとってみても、観光地に行ったらまず食べ物、泊まる所が必要です。それに伴い、サービス業務も必要となります。現在、中国ではサービス面は遅れていますが、帰国後は日本で学んだサービスの必要性、業務内容を広め、生かしていきたいですね。それに、私は日本語専攻で、通訳もサービス業の一種ですから、言葉や文字を使って、日本と中国のかけ橋に役立てたいです。

時間があったら日本の婦人雑誌を中国に紹介したいと、最後に話して下さった権さんでした。

いそがしい業務の合い間に終始笑顔で応対して下さり、さわやかさが印象に残りました。

とちぎYMCA

こちら国際交流最前線

YMCA (Young Men's Christian Association) は、全世界、日本中に広がりを持ち、キリスト教精神に基づき、主に青少年プログラムを中心に活動を行っている団体です。

とちぎ YMCA では様々な活動を行っており、色々な顔をもっています。幼稚園、野外活動(キャンプ、スキー)、英会話スクール、国際分野でのスタディツアーや交流活動、高齢化社会に対応した様々な社会活動、など、YMCA は社会の中のそれぞれのニーズのある分野に枝をはり、多くの人々が YMCA の活動に参加しています。YMCA の活動の1つの特徴としてあげられる事は、様々な年齢・国籍の人が YMCA の活動に自然な形で参加している事です。肌の色や国籍の違う人がキャンプに参加したり、アジア学院との交流も盛んであり国際友好パーティーではインドネシアやフィリピン、ケニアの人々と親しく交わる機会もあります。一般に'国際'という言葉からは英語圏の白人ばかりを考えてしまいがちですが、YACA の国際とは、まさに世界各国とのふれあいであり、肌の色や言葉の違う人々と一緒に何かに参加できる場が YMCA だと思います。又、青少年プログラムばかりではなく、高齢者や、がん患者への対応プログラムも行われています。'ホスピス精神を考えるセミナー'やたんぽぽの会など、来たる



べき高齢化社会に備えて、YMCAに何ができるのかを考えながらプログラムを組んでいます。

このように YMCA の活動は、人と人とのネットワークの集まりであると言えます。社会の中で何が問題で、何が必要とされているのか、YMCA に出来ることは何か。いつも YMCA は社会に必要とされるものを提供し、共に豊かになってゆきたいと考えています。あなたも YMCA の活動に参加し、共に豊かになりませんか?今までの YMCA の活動の中でもし、あなたが興味を持ったものがありましたら、是非参加してみて下さい。

今回は、前回に引き続き、留学に関するご質問にお答えします。

Q1. 外国の大学には簡単に入れると聞きましたが、本当ですか。

A1. これは、大学に設置されている外国人向けの語学コースの留学生を、大学正規留学生とよぶことから起きる誤解のひとつです。

たしかに、大学の語学コースには簡単に入れますが(無試験で入れます)、日本で言う「大学生」として外国の大学の学部に入学するのはそんなに簡単ではありません。学部留学するには、まず、留学先で大学生として生活できるだけの語学力があることを証明しなくてはなりません。外国人学生受け入れに積極的な国々では、大学に入学したあと、授業についていけるだけの語学力があるかどうかを調べるために語学試験を実施していますので、その試験を受けてパスすることが第一条件となります。場合によっては、語学試験合格後、大学で専攻しようとする分野の専門試験を受けさせられたり、国内の受験生と同じ試験を受けてパスすることを要求されることもある

ります。

外国人学生受け入れに、特別積極的ではないが、留学生を受け入れているという国々の大学に留学するには、その国の国民と同じ条件で試験を受けて合格しなければなりません。

Q2. 留学の手続きについて教えて下さい。

A2. どの国に留学するのか、留学の目的は何か(語学留学か、大学か、専門学校か、その他)によって手続きは違ってきますので、具体的な手続きについては日本国内にある、自分の留学希望地の公館(ブリティッシュカウンシルやドイツ学術交流会など)、独立した文化事務所がある場合はその事務所に、文化事務所がない場合は大使館の中の文化部あるいは査証部)に、問い合わせると良いでしょう。ただし、これらの公共機関は、民間のサービス機関と違い、情報を提供するだけで、カウンセリングや留学手続きの代行などは行いません。(ブリティッシュカウンシルやフランス大使館文化部など、カウンセリングのみ受け付けているというところもあります。)

『シンボルマーク決定』



当協会のシンボルマークを募集したところ、多くの県民の方々から537点の作品の応募がありました。

審査の結果、壬生町在住の野口喜美子さんの作品をシンボルマークに決定しました。

图案(左図) カラーは青色

「栃木県の頭文字Tをアレンジし、鳥が美しい地球を背負って世界(未来)に大きくはばたく人々の連帯と交流の意味を表しています。」

シンボルマークは、印刷物や記念品、各種国際交流のイベントの際等多方面にわたって利用したいと考えておりますので、普及広報に御協力ください。

協会日誌(1989 10.1~11.30)

- 10. 2 英会話講座閉講式 (鹿沼市)
(財)鹿沼市国際交流協会と共に
- 10. 4 海外技術研修員県内企業視察 (松下電器)
高齢移住招待者(柴田信義氏/ブラジル) 理事長表敬
- 10.5~6 国際交流団体全国協議会第3回業務研究会(富山県)
- 10. 21 高齢移住招待者懇談会 海外移住家族会と共に
- 10. 25 高齢移住招待者帰国
25 国際交流の集い (グランドホテル)
栃木経済交友会と共に
- 11. 4 青年海外協力隊OB会役員会 (自治会館)
- 11. 6 青年海外協力隊募集説明会
~10 (大田原、足利、真岡、小山、宇都宮)
- 11. 8 日本語講座開講 (自治会館、栃木市役所、11月~3月毎週水曜日) 栃木会場は栃木市と共に
- 11.13~22 栃木県浙江省友好交流調査団団長として理事長参加
- 11.14~18 海外技術研修員関西方面視察
- 11. 29 シンボルマーク入賞者表彰式 (自治会館)

- 11. 30 海外移住家族会ブロック会議 (ホテルたかはら)

在外県人来訪者

- 10. 2 大久保淡通氏 (ブラジル)
- 10. 18 越雲 常雄氏 (ブラジル)
栃木県海外移住者激励訪問団派遣概要 (10.25~11.9)
主催:(財)栃木県国際交流協会
- 10. 29 在伯栃木県人会創立30周年記念式典出席
- 11. 2 アルゼンチン栃木県人会懇談会
- 11. 5 メキシコ日系人会懇談会
- 11. 7 ハワイ栃木県人会懇談会



Information Corner

WINTER SPORTS IN TOCHIGI



SKIING (from December through March.)

Location	Lift Fees	Ski Rental	Ski School	Private Lessons	Transportation	Telephone
Yumoto	1 ride = 200yen 11 rides = 2,000yen	1 set 3,000yen	halfday 2,000yen fullday 3,500yen	halfday 15,000yen fullday 25,000yen	80 minutes from Nikko station to Yumoto spa by bus. (1500yen)	0288-62-2532
Fujiwara Machi Keicho Koogen Miharashi	1 ride = 250yen 11 rides = 2,500yen one day = 3,000yen		half day 2,200yen fullday 4,000yen	half day 10,000yen fullday 20,000yen	50 minutes from Tobu Kinugawa Onsen Station by bus, or 20km on route No 121 from Kinugawa Onsen(spa)	0288-78-0432
Cross Country Skiing Kotoku	8 courses 1km - 30km	1 day 2,500yen			80 minutes from Nikko station to Kotoku spa by bus. (1,450yen) 32km on route No 120	0288-55-0585

There are some other Ski resorts in Tochigi.

Names and phone numbers are as follows.

Please call those numbers for further information.

Hunter Mountain Ski Bowl Shiobara 0287-32-4580 / Maplehill Ski Resort 0288-78-1177 / Nasudake 0287-76-2567 / Kirifuri 0288-53-0525

ICE-SKATING

Address	Opening Hours	Entrance and Hire Cost	Transportation	Telephone
Utsunomiya Ghohonmaru Skating Centre	Weekdays 1pm -7pm Sat/Sun 9am -7pm	Adults 1 hour 240yen Children.. 100yen (rental fee incl.) 30 mins overtime fee 120yen and 50 yen.	Kanto bus from JR station to Shiyakushomae bus stop.	0286-33-8880
Nikko Tokorono Skating Centre	8.30am- 4.30pm.	High school / Adults 1 days - 1000yen Children 1 day 500yen (rental 1 day 800yen)	10 mins from Nikko station to Nikko skate centre by bus (280yen)	0288-54-1392

編集後記

●新年明けましておめでとうございます。

皆様よいお年をお迎えのことと思います。

シンボルマークも決定し、平成2年はより充実した内容で
皆様にお読みいただけるようスタッフ一同頑張ってまいり
たいと思います。皆様の声を紙面に反映させたいと考えて
おりますので、おたより、情報を気軽にお寄せ下さい！

●「お正月国際交流の集い」のお知らせ

平成2年1月13日(土)正午から、自治会館そばの「ニューみ
くら」にて開催致します。

各種コーナーをとりそろえ、内容も盛りだくさん!!

身近な外国人の方もお誘い合わせの上、ご来場下さい。

詳細は協会まで ☎0286-21-0777

●ご案内図

